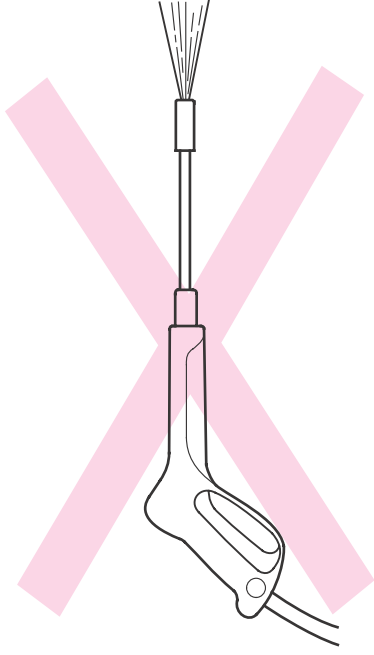


- 洗車は、エンジンが冷えているときに行ってください。
 - 高圧洗車機などのような車体に高い水圧がかかる洗車は避けてください。
- 特に可動部や電装部品等にかかると、作動不良や故障の原因となることがあります。



- 洗車時、マフラーに水を入れないでください。マフラー内部に水がたまり、始動不良やサビの発生などの原因になることがあります。
 - 洗車時、ブレーキの制動部分に水をかけないようご注意ください。水がかかるとブレーキの効き具合が悪くなる場合があります。
- 洗車後は、安全な場所での周囲の交通事情に十分注意し、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認してください。もし、ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキのしめりを乾かしてください。
- ワックスやケミカル類を使用するときは、ボディの目立たないところでもりもりやキズ、色むら等が生じないか確認してからご使用ください。また、ワックス等で強く磨くと塗膜が薄くなったり、色むらが生じますのでご注意ください。

- 洗車直後などにヘッドライト内部がくもることがあります。この場合、ヘッドライトを点灯することでくもりは徐々に消えていきます。ヘッドライトの点灯は、エンジンをかけながら行ってください。

つや消し塗装の取扱い

つや消し塗装部品は、一般的な塗装と取扱いが異なります。
つや消し塗装を維持するため必ず次のことをお守りください。

お手入れ

- 汚れを落とす場合は、中性洗剤を使ってやわらかい布かスポンジで汚れを洗い落としてください。
- 洗浄後は十分に水洗いして乾いた布で水分をふき取ってください。

取扱い

- 塗装面にコンパウンドやコンパウンド入りワックスを使用すると、つや消し感が無くなったり、色むらが生じるおそれがありますので、使用しないでください。
- ご不明な点がありましたら、Honda販売店にご相談ください。